



愛知県議会 2月定例会開会



■人が輝く一平成26年度予算審議へ



12日国府宮はだか祭、尾張大國霊神社儺追神事が無事行われました。前日には平成元年に続き3度目となる平和町奉賛会の皆さんが大鏡餅を奉納されました。来年は3月3日です。

新年度予算等を審議する2月県議会が19日に開会しました。委員会ごとの議案説明、一般質問、議案質疑の後、委員会審議を経て3月25日の最終日に採決されます。新年度分の当初提出議案は、一般会、特別、企業会計の予算関係16、知事等の給与見直しなどの条例関係38、その他12の66議案です。

また、県税764億円の増や新年度に向けて738億円の基金活用の取止め等を盛り込んだ約441億円の一般会計補正予算や民間航空機生産・整備拠点用地の国からの財産の買入れなどの早く議決を要する今年度関係については3月11日の一斉委員会の後、採決されます。

[平成26年度当初予算規模]	
一般会計	2兆3,619億円
特別会計	7,661億円
企業会計	2,293億円
合計	3兆3,573億円

【平成26年度一般会計予算について】

新年度の一般会計当初予算は2兆3,619億円、今年度比1,335億円、6.0%の増ですが、地方消費税増税による地方消費税関連支出(市町村交付金・都道府県清算金等)が増えたため、実質は550億円、2.7%の増。歳入は6年ぶりに1兆円超の1兆915億円を計上、地方交付税は前年同額の400億円、臨財債は800億円減の2,100億円、社会資本整備等の通常の県債は951億円を計上(来年度末の県債残高は5兆3,111億円の見込み)。歳出は、一般職の給与抑制解除等で79億円、医療・福祉・介護等の扶助費で75億円の増、社会資本整備等の投資的経費は243億円、110.8%と大幅増で2,497億円となります。

【予算編成、3つの主要事業と1つの柱】

新年度予算編成は、以下に示す3つの主要事業と、マニフェストを推進する施策として今年度同様、7つの柱【①元気な経済・産業・地域づくり、②安全で災害に強い地域づくり、③環境首都あいちづくり、④安心できる健康・医療・福祉社会づくり、⑤教育・文化立県あいちづくり、⑥地域の潜在力を引き出す社会基盤づくり、⑦自立・分権・協働の行財政体制づくり】に基づいて編成されています。

I. リニアを生かし世界の中で存在感を発揮する中京大都市圏づくり

- リニア開業を見据えた地域づくり：リニア時代の鉄道ネットワークの充実・強化に関する方策案
- 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組：スポーツ大会を活用した地域振興等
- 世界に発信する愛知：ESD世界会議の開催、タイ・バンコクに海外産業情報センター設置等

II. 日本の成長をリードする産業の革新・創造拠点づくり

- 産業を支える人材育成：技能五輪・アピリンピックの開催、留学生受入事業補助金等
- 産業競争力の強化：産業空洞化対策減税基金、航空宇宙産業、自動車産業等
- 農業の振興：農業大学校学生寮の整備、開港10周年を迎えるセントレアでの花フェスタ等



III. 安心・安全でだれもが夢と希望を抱き活躍する社会づくり

- 女性の活躍促進：女性の活躍促進事業、女性の活躍促進監・男女共同参画推進課の設置等
- 特別支援教育の充実：知多地区に新特別支援学校、スクールバスの増車等
- 子育て支援、福祉・医療の推進：子育て支援減税手当(105億円新規)、障害者福祉減税基金(35億円新規)、27年度一部開所予定の小児保健医療総合センター3次救急施設整備等
- 地震防災対策の推進：耐震診断を義務付ける避難路沿道建物の無料診断(新規、次項参照)、民間大規模建築物等の耐震改修費補助(46百万円新規)等

STEP 21 県政 REPORT

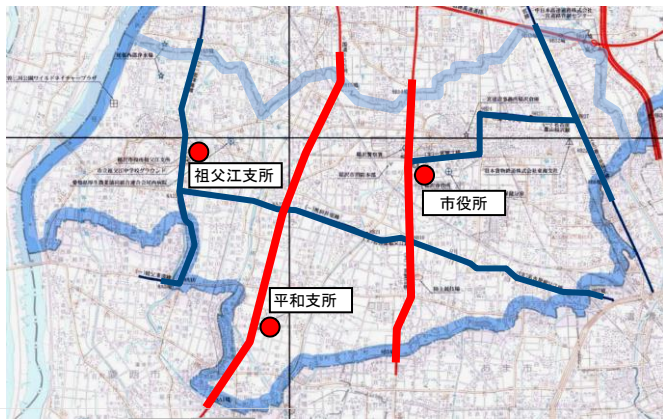


民主党県議団 すずき純

鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島11-24 1402
Tel 24-6600 Fax 23-0791 juneri@na.commufa.jp



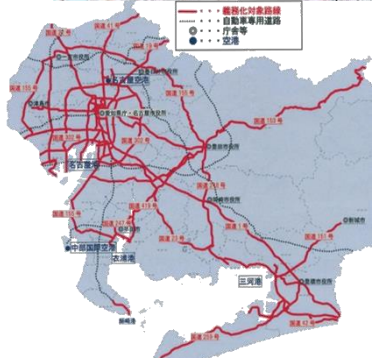
■耐震診断を義務付ける避難路沿道建物について



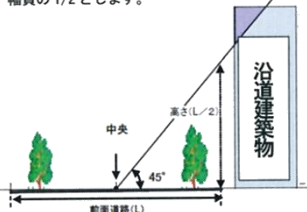
建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正を受け、地方公共団体が指定した道路沿道の所有者に対し耐震診断を義務付けることができるようになり、広域的な避難、救助活動(救急・消火・物資輸送)の観点から必要な道路を指定し(24日までHPでパコメ中です)、耐震診断を義務付けることにより耐震化の促進を図ります。

今回は第1次緊急輸送道路を基本に50路線、延長約873kmを指定、稲沢では国道155号、西尾張中央道が対象です。

対象建物は、昭和56年5月31日以前に着工し、倒壊時に道路の半分を閉塞(左図)する恐れのある建物(道路幅員が12m以下は高さ6m)です。報告期限は31年3月1日(百貨店等要緊急安全確認大規模建築物は27年)。耐震診断の費用負担は県が5/6、国が1/6で所有者負担は基本的にありません。

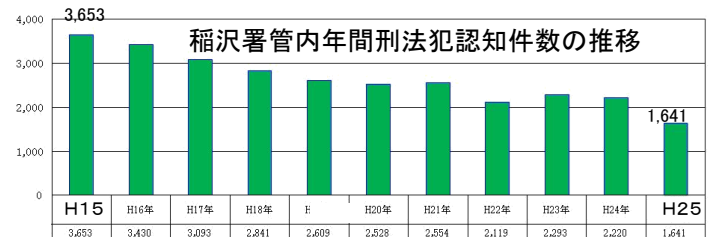
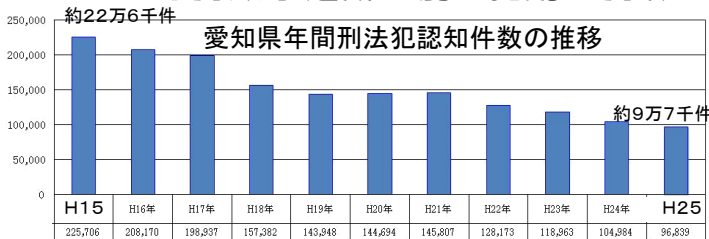


道路幅員12mを超える場合
前面道路幅員が12mを超える場合は、
幅員の1/2とします。

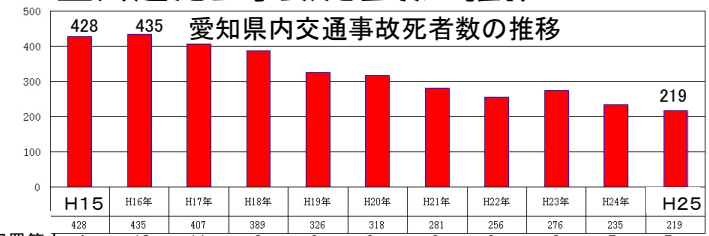


第1次緊急輸送道路 県庁所在地、地方中心都市及び重要港湾、空港等を連絡し、広域の緊急輸送を担う道路
第2次緊急輸送道路 第1次緊急輸送道路と市区町村、主要な防災拠点を連絡し地域内の緊急輸送を担う道路

■10万件以下達成！ 刑法犯認知件数の推移



■交通死亡事故死者数の推移



刑法犯の認知件数は平成6年と比べ15年には倍増となり、翌16年に愛知県安全なまちづくり条例を制定、その後あいち地域安全緊急3か年戦略(18-20)新3か年戦略(21-23)地域安全戦略2015(24-27)を策定し27年までに10万件以下とする目標に取り組んできましたが昨年達成しました。しかし住宅対象侵入盗など全国ワースト1の罪種もあり地域企業団体の皆さんと共に引続きの取組が重要です。

本県は自動車保有台数や標識設置数全国1位、信号機・横断歩道や道路実延長距離全国2位の中、交通死亡事故死者数は対前年16人減としましたが残念ながら11年連続全国ワースト1となりました。



平成26年2月1日 佐織養護学校の学習発表会が開催されました。一生命懸練習した成果を仲間や保護者の皆さんに元気に発表、鈴木も中2の「KIZUNA 音楽団」と小5の「なかよし発表会」を拝見、4月から百人程の子とも達は別れて新設される稲沢特別支援学校へ移るため、佐織での最後の学習発表会です。

イノチ

- 2月27日議員写真クラブ写真展～7日
- 3月1日自治体政策フォーラム・愛知
- 6日稲沢西中学校卒業式
- 8日いなざわ梅まつり～9日
- 16日民主党愛知県連第15回定期大会
- 20日稲沢北小学校卒業式

STEP21



稲沢警察署警で警察委員会の県内調査を実施、委員長挨拶で刑法犯の認知係数の減少率が県内1位の実績や警察術科の優秀な成績を紹介すると共に、狭陰度の著しい署の現状を委員の方にご理解頂きました。

ソチ五輪努力し続けた上村選手、期待を一身に背負った高梨選手、男子フィギュア初の金メダル羽生選手、レジェンド葛西選手等々個人・団体競技に大いに感動、いよいよ愛知の3人、そしてパラリンピックへ。名古屋マラソンも初めて車いすランナーが走ります。未来へつづくまちづくりへ一生命懸動きます。愛知県議会議員 鈴木じゅん